

## 株主・投資家

▶ さまざまな環境問題の解決を目指した取り組み

▶ 事業を通じたコミュニティ・社会への貢献

## さまざまな環境問題の解決を目指した取り組み

### 日本の「エコファンド」の先駆けとして、SRI（社会的責任投資）ファンド普及・拡大へ取り組み

#### 商品・サービス

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントは、環境対策に積極的に取り組む企業に投資を行う投資信託「エコファンド」を提供しています。1999年9月に『損保ジャパン・グリーンオープン（愛称：ぶなの森）』の運用を開始し、その純資産残高は約232億円と国内のSRI公募投信では最大級の投資信託です（2017年4月末時点）。環境問題に積極的に取り組む企業に投資することにより、投資家の資金が間接的に環境保全に貢献することが期待されます。また、『ぶなの森』では投資家への環境情報の発信や、投資対象企業へ環境経営度調査のフィードバックを行うなど環境コミュニケーションの充実を図っています。エコファンドに加えて、「ESG（環境・社会・ガバナンス）」面の評価の高い企業に投資するSRIファンドも、個人投資家、適格機関投資家のニーズに合わせてながら提供しています。



### エコファンド・SRIファンドを通じたCSRコミュニケーションの充実、社会のESGに対する理解促進

#### 商品・サービス

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントでは、SRIファンドを通じた企業とのCSRコミュニケーションを推進しています。

SRIファンド『ぶなの森』では、毎年約400社の企業にアンケートを実施し、環境経営度を調査しており、回答企業に対してはアンケート結果の分析をフィードバックしています。

また投資家向けレポートでは、「月次運用レポート」で組入企業の環境への取組みを紹介、四半期ごとに発行している「ぶなの森ニュース」では「ECOトレンド・ECOインフォメーション・ECOワード」と最新の環境トピックスを紹介しています。また毎年決算時には組入全銘柄の環境への取組みをまとめて公表しています。

このように『ぶなの森』では運用実績のみならず、投資家や企業に対する環境関連情報の提供にも力を入れています。

『SNAM日本ESG投資ファンド（適格機関投資家専用）』では、同ファンドに採用した企業などに対し、SOMPOリスクアマネジメントと協働でESG評価を送付しています。ESG評価には送付先企業のスコアのほかに評価平均値などを記載し、企業の参考情報として活用いただいています。

また、『未来のちから』の月次運用レポートでは組入銘柄の「環境・社会・ガバナンス」への取組みを紹介、『損保ジャパン・エコ・オープン』では環境コメントを掲載するなど、他のSRIファンドにおいても同様の取組みを拡大しています。

当社ではこれからも投資家や企業との対話を通じて責任投資についての理解を促進することで、CSR金融を推進していきます。



投資家向けに情報発信を行う「ぶなの森ニュース」（左）『未来のちから』月次運用レポート（右）

## 企業の環境経営度分析およびCSR経営度分析の実施

### 商品・サービス

SOMPOリスクアマネジメントは、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが販売している投資信託のうち、4つのエコファンドと2つのSRIファンドで、企業の「持続可能な社会へ寄与する取組み」について経営度分析を実施しています。

また、投資家へ環境情報を提供する環境コミュニケーションの取組みを行っています。エコファンドの週次・月次のレポートでエコファンド投資信託の組入銘柄企業の優れた環境への取組みを紹介するとともに、環境に関する最新情報を掲載したニュースを年4回発行する業務を担っています。

アンケートに回答していただいた企業に対しても、アンケートの集計結果や質問項目ごとの自社の取組みの業界内での相対的なレベルなど、環境経営を推進する上で参考になる分析資料を提供しています。環境経営度分析やCSR経営度分析の実施と企業や投資家とのコミュニケーションおよびエンゲージメントを通じて、今後の環境やCSRの取組みの普及・促進を図っています。

## ふなの森 環境アンケート



### 日本版ステewardシップ・コードに沿ってエンゲージメントを実施

損保ジャパン日本興亜および損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントは、「責任ある機関投資家」の諸原則として公表された日本版ステewardシップ・コードの趣旨に賛同し、具体的対応方針をホームページに公表しています。

日本版ステewardシップ・コードでは、投資先企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことが求められており、その取組みの意義や重要性を十分に認識したうえで、投資先企業とのエンゲージメントを行っています。

- ▶ 日本版ステewardシップ・コードに関する対応方針（損保ジャパン日本興亜） 
- ▶ 日本版ステewardシップ・コードに関する対応方針（損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント） 

# 事業を通じたコミュニティ・社会への貢献

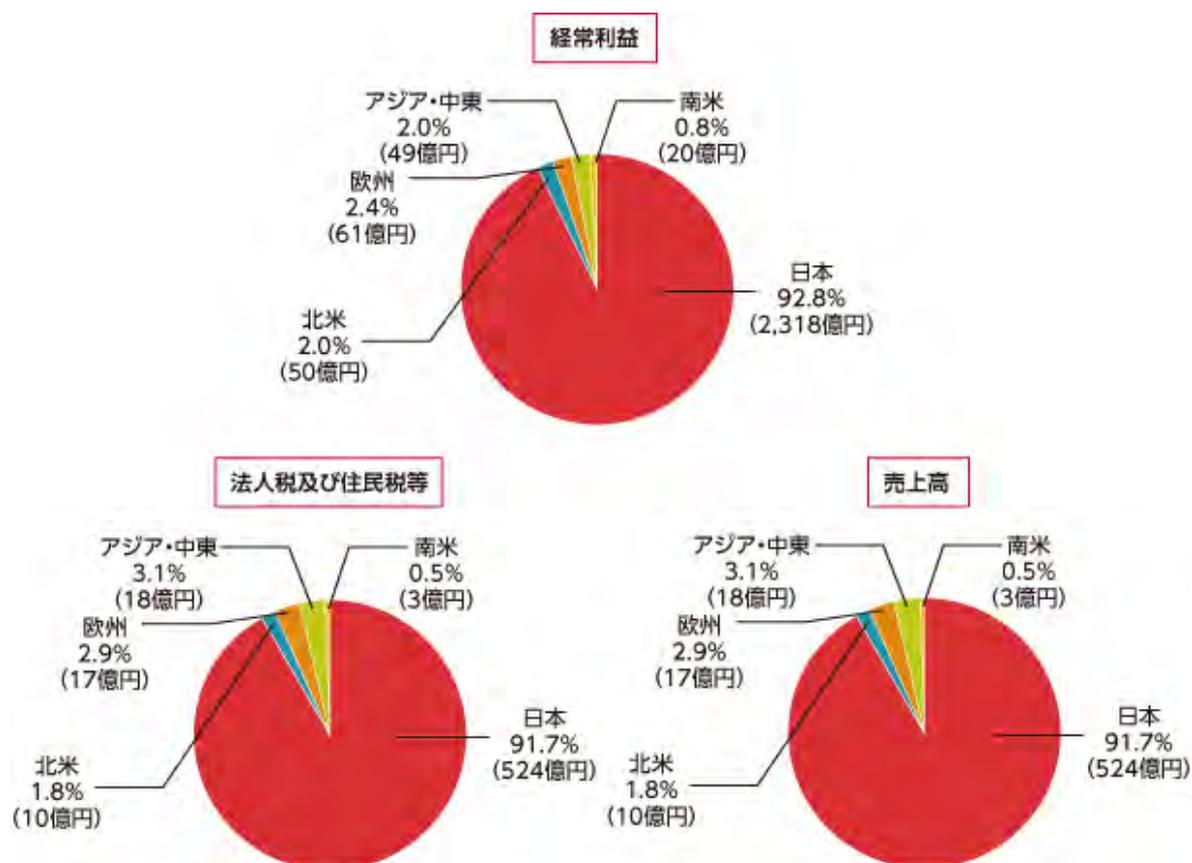
## ビジネスのグローバルな展開

### 連携

SOMPOホールディングスグループは、正当な利潤を追求すると共に適正な納税を実施しています。

当グループは、欧州、中東、北米、中南米、アジア、オセアニア、アフリカの32カ国・地域、211都市をカバーするネットワークを有しており、保険引受業務のほか、事故対応、リスクエンジニアリングなどのサービスを幅広く提供しています。

オーガニックな成長に加え、規律ある投資を行うことで、持続的な成長と株主価値向上を両立することを目指しています。



(注) HD連結財務諸表の公表数値をベースに算出。売上高は正味収入保険料と生命保険料の合計値としている。介護・ヘルスケアは含んでいない。